

令和3年

区民委員会会議録

とき 令和3年7月7日

品川区議会

令和3年 品川区議会区民委員会

日 時 令和3年7月7日(水) 午前10時00分～午後0時03分
場 所 品川区議会 議会棟5階 第3委員会室

出席委員 委員長 鈴木真澄君 副委員長 新妻さえ子君
委員 西村直子君 委員 高橋伸明君
委員 横山由香理君 委員 中塚亮君
委員 藤原正則君 委員 くにば雄大君

出席説明員 和氣副区長 久保田地域振興部長
川島地域活動課長 篠田文化観光課長
山崎文化スポーツ振興部長 辻オリンピック・パラリンピック準備課長

○午前10時00分開会

○鈴木（真）委員長

ただいまより、区民委員会を開会いたします。

本日の議題は、お手元に配付の審査・調査予定表のとおり、報告事項、視察およびその他となります。

なお、報告事項に関連して、本日、視察を行います。議会運営委員会等で確認した内容にのっとり、感染防止に配慮しつつ、先方とも調整した上で行ってまいりますので、ご了承願います。そのため、議題順の変更をさせていただきます。

庁舎の出発は11時頃までにと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、本日も、会議時間が長時間にならないよう、効率的な委員会運営にご協力をよろしくお願いいたします。

1 報告事項

(1)荏原第一地域センターの移転について

○鈴木（真）委員長

初めに、予定表1の報告事項を聴取いたします。

(1)荏原第一地域センターの移転についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○川島地域活動課長

委員会資料をご覧くださいと思います。私からは、荏原第一地域センターの移転についてご報告をいたします。本日、現地視察をしていただくものでございます。

こちらに書いてございますとおり、武蔵小山駅前の再開発に伴いまして、荏原第一地域センターを新たな施設に移転し、地域センター・区民集会所の充実を図ることにより、町会・自治会活動をはじめとした、地域住民の様々な活動を支えるとともに、行政サービスを拡充するというところでございます。

1番、荏原第一地域センター・区民集会所の移転の期日でございますが、令和3年7月26日、新規移転オープンという形で予定をしております。明日7月8日には、地元町会長などの皆様をお招きいたしまして、開所式を実施いたします。鈴木真澄委員長にもご出席いただく予定でございます。

新たな施設の所在地につきましては、武蔵小山駅前再開発地区「シティタワー武蔵小山」内に移転するものでございます。住所は、小山3丁目14番1号ということで、商業施設棟地上2階部分に地域センターが入ります。第1集会室、第2集会室、第3集会室、こちらは和室と授乳室を設けてございます。こちらにあります集会室の概要のとおり、3つの集会室で、今の荏原第一地域センターとほぼ同じ規模の施設となっております。

2番、行政窓口の業務拡大ということで、現在の武蔵小山サービスコーナーと統合しまして、地域センターとしては初めてとなる、火曜延長窓口と日曜開庁を実施するものでございます。開庁時間はこちらに記載のとおりです。取扱業務のところでは、マイナンバーカードの交付と、異動に伴います署名用の電子証明書の更新事務も行うということになっております。

後ほど、現地にて施設を見ていただきながら、ご説明させていただく予定でございますので、よろしくお願いたします。

私からの報告は以上でございます。

○鈴木（真）委員長

説明が終わりました。

この後、現地視察を行いますので、本件の具体的な質疑は、現地にてお願いしたいと思いますが、特にこの場で確認したい点がありましたら、ご発言願います。

○中塚委員

1点だけ、旧荏原第一地域センターと、新たに移転先となった新荏原第一地域センターですけれども、ランニングコストというのか、維持管理費というのか、比較した場合どういう違いがあるのか、この点だけご説明いただけますか。

○川島地域活動課長

メンテナンスにかかる費用の経費の比較ということでございますが、通常、今の古いほうの地域センターですと、年間大体663万7,884円ほど、エレベーターの保守ですとか、業務委託で自家用電気工作物保安管理業務委託ですとか、いろいろな建物のメンテナンスの費用が入ってきますが、合計すると660万円余になっているのですが、今度は、当然、新しい施設に入ってくるということで、令和3年度分の7月から3月末までのところで言いますと、2,340万円ほどかかると。令和4年度以降も大体年間2,000万円ほどの維持管理費、管理費ですとか修繕積立金ですとか、入居するような費用も新たに生じるということで、その辺のところについては、区の支出も多くなっているところがございます。

○高橋（伸）委員

ご説明ありがとうございました。旧荏原第一地域センター、恐らく集会室で使用していたカラオケの音響設備のことをお聞きしたいのですけれども、恐らくもう大分古い機材だと思うのです。移転するに当たって、そのカラオケ設備を持っていくのか、あるいは新しい機材を導入するのか。大分古い機材と聞いています。町会の方々、高齢者クラブの方々のお楽しみの1つになっているみたいで、移転するにあたりその時代に準じたカラオケ設備を検討されているのかどうかということだけ、お聞きします。

○川島地域活動課長

事前にお電話でお問合せもいただいておりますので、地域センターに長くいる職員等に聞いてみたのですが、私どもも荏原第一地域センターのカラオケ設備について、あるということを知らなかったものですから、確認をさせていただければと思うのですが、もしかすると荏原区民センターのほうに置いてあるものなのかもしれないのですけれども、集会所での使用という使い方を今していないようですので、確認しまして、そのカラオケ機器がいつぐらいにどうなったのかということと、それから、今後どうしていくかということも、またお伝えさせていただければと思います。現状だと、機械がどうされているか分からない状態だということでございます。

○高橋（伸）委員

分かりました

○鈴木（真）委員長

ほかによろしいでしょうか。

では、ほかにご発言がないようですので、以上で本件を終了いたします。

(2)東京2020大会期間中の事業（予定）について

○鈴木（真）委員長

次に、(2)東京2020大会期間中の事業（予定）についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者よりご説明願います。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

それでは、私から、東京2020大会期間中の、私どもオリンピック・パラリンピック準備課の事業について、ご報告申し上げます。資料をご覧ください。

新型コロナウイルスの感染状況も踏まえまして、IOC、IPC、国、大会組織委員会、東京都の五者協議等が行われております。また、東京都の方針も勘案しまして、区としてどうしていくかということを検討に検討を重ねた結果、今現在の予定として、このようになっているということのご報告でございます。

まず、項番1の、東京2020オリンピック聖火リレーでございます。内容等については、以前もご報告申し上げますが、7月21日に行われる予定です。資料作成のときにはまだ結果が出ていなくて、早期に判断がされるということになっておりましたが、昨日、東京都聖火リレー実行委員会が書面開催されまして、私どもにも報告があったところでございます。私どもも行う7月21日を含めた、7月17日以降の世田谷区を除く22区は、公道は中止で、セレブレーションの会場で点火セレモニーのみを実施するということが、連絡としてございました。実際の時間ですとか、どのような形になるといったことについては、また今後、連絡があると聞いております。

引き続きまして、項番2の事前キャンプでございます。こちら、パラリンピックのときにコロンビア共和国を予定しております。対象競技がボッチャとパラ・パワーリフティング、日程は記載のとおりでございます。どちらの競技も人数は8人ずつということで、練習場所は総合体育館の卓球レクリエーション室と、それから、こみゆにていぶらざ八潮の第1多目的室を予定しております。また、宿泊についても、区内ホテルで現在調整中でございます。こちらは実施の予定でございます。

両競技の選手団は、まず成田に着いてから、専用の貸切りバスでホテルに入りまして、それから、宿泊滞在先と練習場所を専用バスで移動し、外部との接触を避けるようになっております。また、毎日のPCR検査等も実施するというので、マニュアルを事前に作りまして、内閣府の了解を得た上で、相手国のパラリンピック協議委員会と同意書を交わすというふうになっております。

選手と区民の交流、事後交流・事前交流、それから練習見学ですが、こちらは感染症対策を講じた上で、現在、検討・調整をしているところでございます。

項番3、ホスピタリティハウス「しながわハウス」でございます。こちらは、大会期間中の土日祝日で、旧東品川清掃作業所跡地で行う予定でございました。こちら、何かできる形はないかということで検討を重ねましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、現地での実施は見合わせまして、オンライン配信イベントに変更いたします。なお、同時期に、天王洲と五反田やホッケー競技場などを結んだ舟運事業も予定しておりましたが、こちら、人流抑制の要請を踏まえて中止といたします。

裏面をご覧くださいませ。項番4でございます。区民参加型文化イベントの「しながわホッケーファンゾーン」でございます。こちらは大井競馬場を開催場所として計画をしておりましたが、こちら、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、オンライン配信イベントに変更いたしました。

それから、項番5のパブリックビューイングでございます。こちらは大井町駅近辺でできたらということで検討を重ねてまいりましたが、こちら、なかなか人の管理といたしますか、できませんので、事業は中止をいたします。

項番の6、チャンネルアートモーメント品川2021でございます。こちらは、天王洲地区でパラリンピックの期間中、8月28・29日で、水上の舞台ライブステージをやる予定にしております。こちら

はライブ生配信でございますので、実施の予定です。観客を実際に入れるかどうかについては、また今後のコロナ感染症の状況を踏まえて調整中ということで、こちらは入れるとしても予約制で、限られた人数でとなっております。

それから、その下、項番7の東京2020大会観戦ツアーでございます。こちらは、区民の方にも観戦する機会を提供するというので、開催期間中、オリンピック・パラリンピック期間中に、今まで応援してきた3競技と、あと、事前キャンプを行うパラ・パワーリフティングも含めて、観戦を一般に公募をして行う予定でございます。こちらは今のところ実施する予定ですが、こちらも、五者協議等がまた行われるかと思っておりますので、それを踏まえて調整をさせていただくというところでございます。同様に、学校や保育園についても検討中ということでございます。

私からは以上でございます。

○鈴木（真）委員長

説明は終わりました。

本件につきましてご質疑等ございましたら、ご発言願います。

○中塚委員

オリンピックに関わる事業について、中止や見直しや縮小を行うと、今、説明がありましたけれども、人の流れを抑制するというのであれば、オリンピック開催そのものを中止すべきだと、初めに述べておきたいと思います。

冒頭の説明について、若干補足の説明をお願いしたいのですが、まず、聖火リレーですけれども、昨日、公道中止という連絡が東京都からあったということで、点火セレモニーという説明がありました。昨日の今日ということでもありますけれども、どこで行うのか、また関係者や参加する人数はどのような規模なのか、つまりは一般の方の参加、人が集まるということは避ける対応なのか、現時点で分かる範囲で構いませんので、ご説明いただきたいと思います。

それから、事前キャンプについてですけれども、やはり周辺の方から不安だという声が寄せられております。近隣住民への周知や説明、どういう対策を行っているのかの説明などはどのように行っているのか、お伺いしたいと思います。

あわせて伺いますけれども、ホスピタリティハウス「しながわハウス」ということで、現地は見合わせるという説明がありましたけれども、つまりは一般の方の入場はできないということでよいのか、確認をさせていただきます。

最後に、同じく区民参加型文化イベント「しながわホッケーファンゾーン」ということですけれども、オンライン配信ということなので、これも現地での一般の方の参加はできないということでよいのか、それぞれもう少し補足で説明していただきたいと思います。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

今、4点ご質問をいただいたと思います。

まず、聖火リレーの点火セレモニーについてですが、これは、セレブレーションを行う予定でしたしながわ中央公園で行う予定になっております。参加人数等の詳しいことはまだ連絡はないのですが、今までの、ほかの、先の東京都で行う予定の聖火リレーの場所の話などを聞きますと、関係者のみで、聖火リレーに出る方が、トーチキスといたしましてお隣の方に火をどんどん順繰りにつけていくわけです。それで、聖火リレーの最後の方が聖火台に点火しておしまいということで、一般の方の入場等はないと聞いております。そういう意味では、その中で、では、それをどうやって見るのかといたしますと、一応

ライブ配信をするというふうには聞いております。

それから、2点目の事前キャンプですが、なかなか日程等が決まったのがつい最近ということもございまして、地元説明ということでは、これから入るといふ形になるのかなと思います。例えば総合体育館にしてもこみゅにていぷらざ八潮につきましても、周りに住民の方もいらっしゃいますし、不安の声がないように、払拭されるように、きちんと説明はしていきたいと思っております。実際、朝入って、帰りまでは、もうその部屋にいつ放しということですので、近隣の住民の方と接する機会というのはないと認識しております。

それから、3点目のしながわハウスです。しながわハウスはオンライン配信ということで、場所自体、もう東品川清掃作業所は使いませんので、人がそこへ来るといふことはございません。

同様に、区民参加型文化イベント「ホッケーファンゾーン」も、大井競馬場を使ってオンライン配信をするので、オンライン配信自体は別の場所で収録をしますので、競馬場にも人が集まるといふことはないと認識しております。

○中塚委員

関係者の方のご努力は敬意を表したいと思っておりますが、聞けば聞くほど、そこまで制限をしてまで、本体であるオリンピックをやる意味といふのは一体何なのかと、率直に思います。都議会議員選挙もありましたけれども、テレビの選挙報道を見ても、オリンピックの開催の是非が大きな争点になったという報道が、私もテレビを見ておりましたけれども、やはりその背景には、コロナの感染が広がっている、終息できていないという不安が、率直にあるのだと思います。

先日の本会議で濱野区長は、「東京2020大会を成功させることが区の役割と認識」という答弁がありました。私はとんでもないと思います。コロナから住民の命を守ることが区の役割だと、私は思います。

そこでお伺いしたいのですけれども、なぜコロナの感染が広がり命のリスクを伴う中、東京オリンピックの開催が区の役割だと思うのか、伺いたいと思います。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

オリンピックをコロナのある中でやるというのは、なかなか難しい状況でありますし、国民の中でも反対する声があるというのは、もう重々承知していますが、いろいろな声がやはりあると思います。中には、安全をしっかり担保しながらやってほしいというお声も伺っております。いろいろな意見があると認識しております。

その中で、区の姿勢としては、もうやるからにはきちんと安全を保ちながら、区民の方が「あ、やはりやってよかった」という気持ちになって終わっていただける、また、これからの区の活性化につながるような形での、いろいろな事業の取組をしていく、それが一番区として大事なことかなと思っておりますので、そのように進めていきたいと思っております。

それで、1点補足ですが、パラリンピックのときも聖火リレーがあります。それに関しましては、品川区内は走らないのですが、品川区の火ということで、火を採る採火式というのは行う予定になっておりました、それもオンライン等で配信をして、みんなで一つになるというような形で進めていきたいと思っております。

○中塚委員

私が伺ったのは、命のリスクを伴うオリンピックの成功が、なぜ区の役割だと思うのかと伺いました。今の答弁は、やるからには安全を保ちながらと、何だかもう、まさに見切り発車な状況だと思います。

先ほど区のホームページを見ましたけれども、品川区内でも、コロナの死亡者数は、6月27日現在で102名の方が現に亡くなっている。今も連続して新規陽性者が増えている。こうしたコロナ感染を高めてまで、命の危険を冒してまで、東京オリンピックの成功が区の役割だとなぜ考えられるのか。最後に改めて伺いたいと思います。

そして、国や東京都や関係者に、品川区としてオリンピックの開催の中止を申し出るべきだと思いますが、それぞれいかがでしょうか。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

人の命かオリンピックかというこの二者択一というのは、今まで一度もそういうふうには考えたことはありません。人の命は大事なことはもう当然なこととして、きちんとそこを担保した上でオリンピックを成功させる、それが私たちの仕事ですので、中止を訴えるような考えは特にありません。

○中塚委員

命は大事だとおっしゃっていただきましたが、私も命ほど貴いものはないと思っております。しかし、オリンピックの開催は、たとえ無観客であっても、世界中から関係者が数万人東京に集まるわけで、各種事業も、規模は縮小したとはいえ、人の流れが生まれていく。リスクを伴うオリンピックの開催は中止すべきだと述べて、終わりたいと思います。

○くにば委員

1点だけ確認させてください。2番の事前キャンプ、先ほど周辺住民の方にきちんと説明をするというご答弁がありましたけれども、これは、具体的に周辺住民の方という定義を教えてください。例えば私は、この2番目のパラ・パワーリフティング、こみゅにていぷらぎ八潮の道を挟んだ向かいの棟に住んでいるのですが、それは周辺住民に含まれるのかどうか、団地なのでかなり周りに棟があるのですが、どこまでの範囲を周辺と考えているのか、その説明の方法であるとか周知、時期をどのように考えているのか、お教えてください。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

周辺の定義ということでございますが、練習場所所在地の地域センターの管轄になろうかと思えます。周知の仕方ですが、通常は何かそこに関わることがあるときには、町会長会議、または自治会長会議等でご連絡するというのが大体の流れですので、そういった形になろうかと思えます。

○くにば委員

自治会長会議、町会長会議で報告する。それは、周辺住民ではなく、周辺住民のある意味、長というか、集団の中のトップの人に説明する。それは、周辺住民に直接説明が行き届かないということでしょうか。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

自治会長、町会長から周辺の住民にまたお知らせいただくということで、そのようなルートを使って、区の事業やご連絡というのは通常差し上げてございますので、同じようにさせていただきたいと思っています。

○くにば委員

その町会長、自治会長が、そこの中の人たちに周知をするというのは、きちんと区のほうからその周知をしなさいという命令で周知をするのでしょうか。例えば私は地元の自治会には加入していませんけれども、加入していない周辺住民の方にも連絡は来るのでしょうか。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

区民への周知というのはいろいろな形があると思います。例えば広報紙を使ったりホームページを使ったり、そういった形もございますし、町会長会議や自治会長会議を通して地域住民に知らせるということもございます。また、緊急性のあるものでしたら、掲示板等に緊急で貼るような場合もございます。

こちらの案件としましては、町会長、自治会長にご連絡を申し上げて、そこから周知していただくという方法を取りたいと思っておりますので、自治会長や町会長に命令をするというのではなく、こちらとしては周知のお願いをするというような位置づけになろうかと思えます。

○くには委員

すみません、少しご答弁が、私が質問したことにいまいち足りていないと思うのですが、要するに、端的に、自治会に加入していない方のところに連絡は行くのでしょうか。区民委員会で、当然ながら所管なので、自治会、町会の加入率というのはもう常々議論のテーブルに上がっているのですが、加入率は決して高くはない。その中で、町会、自治会の町会長、自治会長に、では、担当のこの地域の全ての住民の方に周知をしてくださいと、それを徹底するのか、ではなく、あくまで町会長、自治会長が、「では、周知します」と言って、実際は加入している方にしか周知されないのか、そこは委ねられてしまうということでしょうか。それで、きちんと、先ほど申し上げた形で、町会、自治会に加入していない方に、必ず区のほうで責任を持って周知するのでしょうか。

これはある意味、当然ながら、中塚委員からも指摘があったように、人命に関わることであり、例えばこのこみゆにていぶらぎ八潮の建物内というのは、当然ながら選手の方たちが動き回りますよね。こみゆにていぶらぎ八潮をこの期間中、完全に閉鎖するわけではないと思うのですが、例えばこみゆにていぶらぎ八潮というのは、普通に区民が利用していると思うのです。私も利用していますし、そういった方たちも感染リスクは当然あると思うのです。なので、周知すると思うのですが、周知が徹底されるのは、区の責任で周知を徹底するべきだと思うのですが、その2点についてお伺いします。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まずは、動線についてですが、これは完璧に分けますので、一般の方と会うということはありません。中を動き回るといってお話をされていたのですが、部屋に入りましたら、そことトイレも区分しまして、そこは一般の方は入れないよということ、接触は完全にないような対策でやっております。

周知の仕方ですが、なかなかこれだけの区民がいる中で、その方1人ずつに全てお知らせするというのは難しい部分もございます。私どもは、広報を使ったり、ホームページを使ったり、町会長や自治会長にお願いをしたりという形で、様々な形で周知をしていく所存でございます。八潮に住んでいる方全員にお知らせするというのは、なかなか難しいこともあるのかもしれませんが、私どもは、そこはきちんと皆さんに安心して生活をしていただけるような形を取りながら、周知はしていきたいと思っております。

○くには委員

例えば区のほうで、もっと大きな単位のことによって、区民の方に可能な限り大きく周知をするというときには、きちんと広報しながら、ふれあい掲示板であるとか、ホームページ、SNS、様々な媒体を使って広報していると思うのですが、今回の件に関してはかなりミニマムというか、自治会長、町会長に委ねられているという点で、きちんと周知というのをもっと徹底すべきだと思うのです。

何度も申し上げているとおり、そこに一任をしてしまうと、例えば八潮全体の方に周知をすることはなかなか難しいというお話がありましたけれども、そこに関してはその他様々、例えば、それでしたらポスティング、区のほうで責任を持って周辺住民の方に、例えば工事とかがあるきというのは、普通に周辺住民の方たちにポスティングでお知らせが入るではないですか。そういった形が、例えば1つ、周辺住民の方に区が責任を持ってきちんと周知をするということだと思えるのですけれども、もう一度ご答弁ください。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

現在のところ、ポスティングまでは検討はしておりません。ただ、住民の方で知らなかったとかいうことがないような形で、今、委員もおっしゃられたようなSNSですとか、そういったものは使いながら、周知はしていきたいと思えます。

○くにば委員

すみません、何度もやり取りして申し訳ありません。要するに、きちんと行き届いてほしいのです。これ、なぜかという、本当に基本的にはコロナの感染拡大の影響の可能性があるということで、そのためにここまで徹底して申し上げているのですけれども、今申し上げた、例えば広報しながわであるとか、広報しながわで周知するかどうかというのは、今ご答弁をいただいているので、確実かどうか分からないのですが、ホームページ、SNSはあくまで補完的なものです。それで周知をしても、八潮に住んでいる高齢の方々には恐らく行き届かないです。

きちんとふれあい掲示板にこの件は掲示しますとか、例えば八潮地域のふれあい掲示板に全て区が責任を持って、この件に関してお知らせを貼りますとかというのは、そんなに難しいものではないですよ。それは確実にしますであるとか、そこら辺ぐらいはせめて、それぞれの町会長、自治会長に委ねますではなく、少なからず区のほうでもう少し責任を持って、例えば本当にふれあい掲示板のみの周知をするという方法とかは、区が責任を持って、コストがそこまでかからずに、難しい方法でもなく、できる1つの方法かなと思って申し上げているのですけれども、可能であれば当然、ポスティングなり広報しながわに必ず載せるであり、そういう形でもっと確実に行き届くようにしたほうがいいと思えます。

本当にそれは、先ほど、動線を分けるから直接接触はしないとおっしゃいましたけれども、直接の接触だけではないではないですか。建物のトイレも分けると言いましたけれども、では期間中に、これは一切、完全に建物に閉じ込めるバブル方式、閉じ込めるということで一切建物から建物と宿泊、区内のホテル、これはもうシャトルバス等で、必ず公共交通は使わないと思うのですけれども、このこみゅにていぷらざ八潮に関しては、ここにいる間は一切建物から出ず、区民には一切触れないという認識なのか、その2点をお願いします。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、周知の方法は、区民の皆様、特に八潮地域の皆様に心配がないような形は、いろいろ講じてはいきたいと思っております。

それと、バブル方式の話ですが、委員がおっしゃいますとおり、都内のホテルからシャトルバスというか、貸切りバスで中に入って、そこから帰るという形で、動線も分けていますし、区民とは全く接しないような方法で、事前キャンプにおいてはそういうふうにマニュアル上もなっていますし、そういうふうに徹底してやる予定でございます。

○くにば委員

例えばこみゅにていぷらざ八潮の中の施設の係員の方とも、一切接触をしない。例えば選手と接触を

する方は、フードをデリバリーする方であるとか、大会関係者が基本的に接すると思うのですが、その大会関係者は選手団の人と接触というか、当然話をしたり、要するにコロナの感染をする可能性がある距離で会話をしたり等があり、選手だけではないではないですか。その関係者の方経由で感染する可能性があります。施設の関係者の方経由で、その方が感染してしまったら区民に広がります。その部分なのです。選手団と接しないからといって、一切選手団の方たちから感染が広まらないとは限らないと思うのです。

もうこれ、結局、選手団の人たちが感染はありませんというなら、信頼はある程度担保できるのですが、実際にウガンダとかセルビアの選手団の人たちが、感染しているではないですか。そもそもが、例えば事前キャンプの受入れ自体、私は反対の立場なのですけれども、これはもう受入れ自治体が独自に判断をして、受入れを中止しているところもあるではないですか。その判断は品川区としては、オリンピックの成功のために力を尽くすということで受入れはする。なのであれば、そういった形で、感染リスクをもっと深く丁寧に、慎重に考えてすべきだと思っているのですけれども、では、その広報についてはしっかりとさせていただけるというご答弁で、それはお願いしますという要望にしておきます。

このこみゅにていぷらぎ八潮内での動線、区民の方が必ず触れない範囲での施設の利用、おっしゃるとおり、例えば区民の方が利用できるところのトイレを使ってしまったら、トイレの例えば蛇口経由で感染が広がるということがあるではないですか。地下鉄の職員が一斉に感染した。あれは水道の蛇口だと言われています。というふうな形で、区民の方が一切触れないように、完全に施設の利用も分けていただきたい。その施設の管理者および、ここも完全に閉じ込め、バブル方式の中から漏れてしまうであろう大会関係者の方と、そこ経由での感染の拡大というのが、私は、可能性は当然あると思っているのですけれども、そこに関して最後に1点だけご答弁ください。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、施設利用に関しましても完璧に分けていますので、ほかの方との接触があるということはないというのは、きちんとマニュアル上もしていますし、動線も全て確認はしております。

それと、関係者の枠ですけれども、選手だけではなくて、それをアテンドするような方、スタッフも含めてバブルの状態になりますので、もしも施設の方と接触があるとすると、その日の朝の鍵の受け渡しぐらいです。そこに関しても、今時点でももう、例えばこみゅにていぷらぎ八潮でしたら、外に机を置いておいて、そこに置いて、それで利用する方が取りに来るといった形を取っていると認識しておりますので、同じようにさせていただこうかなと思います。

選手と関係者に関しましては、毎日の検査、それから、利用する施設の方についても、4日に1回の検査をお願いするような形にはなっております。

○くにば委員

もろもろご答弁ありがとうございます。最後に申し上げておかせていただきますが、周知の徹底をぜひともお願いします。すぐ向かいに住んでいる僕にも、必ず周知が届いてしかるべきであろうと思うので、周知徹底のほうは必ずお願いします。区が責任を持って周知徹底するようにお願いします。

一番最後の施設の管理者の方等に関しても、例えばホテルのベッドメイキングをする方であったり、ホテルの係員というのは、当然ながら部屋の掃除もしなければならぬので、これは一番最初の船の時点で、その船を掃除した人が感染してしまったみたいなきっかけがありました。実際に、隔離をされている方々のホテルをベッドメイキングとか、ホテルを掃除する方、当然ながら物すごい徹底をして、感染をしないように注意をしています。要するに係員というのは、そういった、もうやむを得ない、その選手

団の方たちがその期間いた際に、日々掃除をする方、例えば先ほど申し上げた蛇口一つでもそうすけれども、何かしらその選手団の方が触れるようなところでその徹底の範囲に関して、分かりました。

以上、もろもろ、私が心配をし過ぎというものもあるのかもしれませんが、でも、心配というのは、本当に命に関わっているから、どこまでの範囲できちんとやっていただけるのかというのを、ざっくり徹底してやりますという、その徹底してやりますというのが、本当に徹底してできているかということ、実際にざるの部分があったりするのです。

○鈴木（真）委員長

あまり繰り返しにならないように。長くなってきていますので、繰り返さないようにお願いします。

○くにば委員

分かりました。では、以上にします。

○横山委員

幾つか確認させてください。まず、選手の方に対しての部分になるかと思うのですけれども、事前キャンプでいらっしゃるコロンビア共和国、またパラ・パワーリフティングの選手の方々、またコーチの方、スタッフの方、選手の方というのは本当にスポーツを一生懸命頑張られて、それで品川区にいらしていただくという形で、今回、受け入れるということになっているかと思うのですけれども、限られた、こういったコロナ禍という大変難しい状況ではあるのですが、感染症対策を講じた上で、選手の方々に対して、こんな状況だけれども、品川区でこんな経験をしたなみたいな形で、何とか何か、おもてなしではないのですけれども。私は生まれ育ったこの品川区がすごく大好きで、今、こういった仕事もさせていただいている中で、なかなか本当に難しい状況だとは思いますが。ただ、対策を講じた上で、何かしらそういった気持ちだけでもお伝えできたらいいのになと、個人的にも大変感じているところなのですけれども、そういったあたり、今どのようなことが検討されているのか教えてください。

そして、あと2点目ですけれども、チャンネルアートモーメント品川2021です。こちらは、今、まだ検討中ということですが、観覧客の方の受入れがもしあるとすれば、予約制で限られた人数でということだったのですが、対象者については、こちらは区民限定など、現時点で、調整中ということですが、何か対象者に関しての情報で分かる部分がありましたら、教えてください。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

まず、事前キャンプの件でございます。実は2年前にも1回行いまして、そのとき、区民の方ですとか小学生とも交流をしまして、非常にいい交流ができたと思っております。地球の裏側の国の方と心が通じ合うというのは、本当にいい経験だったかなと思えました。

今回もぜひ、できたらそういうのをやりたいなと思っているのですが、やはりコロナ対策ということで、厳しい部分がございます。事後交流とかオンライン交流とか、いろいろ今、考えてはいるのですけれども、実際できそうなのは、多分、国旗に応援のメッセージを書いてもらうようなことをお願いするですとか、ビデオメッセージみたいなものを作ってお伝えするだとか、そういった形でも、区内にコロンビア大使館もございますので、これからも末永く付き合いしていく国でございますので、ぜひ何かできる形で応援はしていきたいと思っております。また、相手の国、コロンビアの方にも、品川区というのはいいところだなというような思いを持って、大会に臨んでもらいたいなと思っております。

もう1点、チャンネルアートモーメント品川2021の観覧客の件ですが、今のところ、特に区内在住とか在勤とかに限るような話が出ていないです。今後、詰めていくところなのですけれども、ウェブを通した予約をするような形になろうかなと思っておりますので、なかなか在住・在勤の確認が難しいという

ころがございますので、ひょっとしたら、特に限らずになってしまう可能性もございます。

○横山委員

ありがとうございます。本当に難しい中で、様々検討・調整していただいているということが分かりました。やはりこれから、またレガシーみたいな形もありますし、交流がなかなか、コロナウイルスの感染状況もありますので、直接の交流というものが難しいかもしれませんが、今回、可能な範囲で、もちろん感染症対策をしっかりと講じた上で、そうした国旗のメッセージですとか、そういった区民の、何というのでしょうか、選手の方々に、難しいこの形で、練習場所とホテルとの往復だけとなってしまうと、やはり選手の方も、しっかりこのパラリンピックに向けてずっと頑張ってきた中で、本来の力を発揮するのも本当に難しい状況だと思います。そうしたところも何とか頑張って、選手を応援する気持ちというのが私たちにあるのだということも、何とかうまく伝えられたらいいなと思いますので、ぜひ引き続き、できる範囲で、無理のない形で、感染症対策に気をつけながら進めていっていただければと思っております。

○中塚委員

先ほどの事前キャンプに関わって、周辺住民の方への説明ですけれども、町会長や自治会長に説明をすることは分かります。しかし、住民への説明を町会長、自治会長にお願いするのではなく、やはり説明は品川区が行うべきことだと私は思います。いろいろやり取りがありましたけれども、具体的にどういう対策を取っているのか、どういう計画なのか、いつなのか、その概要も含めて、チラシでポスティングをすることを検討していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

また、感心の高いことでもありますので、ぜひコロナ感染対策をした上で、住民説明会を行うべきだと思いますが、いかがでしょうか。やはり、区民委員会ではなくなってしまうけれども、公園を造るときでも近隣の方に影響を及ぼす際には、ポスティングもするし説明会もやるし、理解を得ながら進めていくというのが、これまで品川区もやっているところもあるわけですから、今回もポスティングや説明会はぜひ検討していただきたいと思いますが、その点だけいかがでしょうか。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

住民説明の方法ということでございます。影響力といいますか、影響がどのようにあるかという点ですけれども、私どもはマニュアルも作り、マニュアルがあればいいというものではないのですけれども、マニュアルをきちんと作りまして、安全に関しても徹底してやるつもりでおります。そういった中では、公園を造るときのような住民説明会だとか、そういったことは今のところは考えてはいません。

○鈴木（真）委員長

繰り返しになるような質疑にならないようにお願いします。

○中塚委員

ポスティングは何で検討できないのですか。住民説明会がなぜ検討できないのか。理由を説明いただきたいと思いますが、改めて実施していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

住民周知の方法については、事案に応じて様々な形があると思っております。今回の事前キャンプに関しましては、私どもとしては、自治会長や町会長に説明ということで、今のところ考えております。

○新妻副委員長

事前キャンプの件ですが、総合体育館、こみゆにていふらぎ八潮、これまでもサークル、団体で使っている方が多くいらっしゃると思うのですが、これらの方々への周知というのはどういうふうになって

いるのかというところを、1点確認させてください。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

どちらの施設も住民の方が、団体で定期的に使っているような方もいらっしゃると思います。そちらに関しましては、施設のほうで、もう既に貼り紙をしてありますとか、そういった形で周知はさせていただいております。

○新妻副委員長

ありがとうございました。例えばキャンプがあるから、では、この期間は使用を避けようとか、心配で、何かそのようなお声というのはあるのでしょうか。

○辻オリンピック・パラリンピック準備課長

私どもに直接は届いてはいないのですが、ただ、施設のほうでそういうお声をいただいているのかは、定かではないのですが、施設の管理者の方から、やはり利用する方が心配しないように、このような対策は取ってほしいというようなオーダーは幾つかいただいておりますので、そこは対応していきたいと思います。

○新妻副委員長

ありがとうございました。その徹底、とにかく感染者が増えている中でこういう事前キャンプにもなりますので、周辺、また区民の方が心配なきように、またこの対策はお願いをしたいと思います。

ただ、八潮において言えば、私も一八潮の住民としては、やはりほかの地域と比べては自治会への加入率も高いところであって、これまでも周知徹底というのが、自治会を通じて様々地域センターから発信をされていることにおいては、周知率は高いのかなというふうには、それは私が感じるころではありますが、いま一度、そのお声もまた地域センターともご相談をしていただきながら、地域の方々がまた不安がないような、一番いい形で、皆さんがやってよかったと思えるようなことは、ぜひまたご相談を進めていただければと思いますので、要望で終わります。

○鈴木（真）委員長

ほかによろしいでしょうか。

それでは、以上で本件および報告事項を終了いたします。

3 その他

(1)議会閉会中継続審査調査事項について

○鈴木（真）委員長

次に、議題順を変更し、先に予定表の3、その他を議題に供します。

まず、(1)議会閉会中継続審査調査事項についてでございますが、お手元の申出書（案）のとおりでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○鈴木（真）委員長

ありがとうございます。

では、この案のとおり申し出ます。

(2)委員長報告について

○鈴木（真）委員長

次に、(2)委員長報告を議題に供します。

議案審査の委員長報告については、正副委員長にご一任いただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○鈴木（真）委員長

ありがとうございます。

それでは、正副でまとめさせていただきます。

(3)その他

○鈴木（真）委員長

次に、(3)その他を議題に供します。

その他で何かございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○鈴木（真）委員長

ないようですので、以上で本件を終了いたします。

2 視察

○鈴木（真）委員長

次に、予定表2の施設を議題に供します。

さきの報告事項の内容等については、現地でご説明をいただきながら視察を進めてまいります。

庁舎を10時55分に出発したいと思いますので、時間までに第三庁舎2階のマイクロバスにご参集いただきますようお願いいたします。放送でもご案内いたします。

会議の運営上、暫時休憩いたします。

○午前10時48分休憩

〔視察場所：荏原第一地域センター〕

○午後 0時03分再開

〔車中にて再開後、閉会を宣する〕

○午後 0時03分閉会